friendship force
AICHI

No. 108

Newsletter

熊本大地震の被災者の皆様に心よりのお見舞いを申し上げます

「終わりのない地震」 会長　鷹野晴子

熊本県を中心とした一連の地震の発生から 1 か月を過ぎた今でもなお余震が続き、被災者が不安を感じながら日々を過ごされていることに私達は胸が痛みます。1 日も早い終息を願っております。愛知クラブは熊本クラブへ心ばかりのお見舞金として 50,000 円をお送りいたしました。2011 年の東日本大震災の折は皆さんへ募金の協力をお願いし、集まったお金を日本赤十字より被災地へ義援金として送りましたが、今回は会員の皆様はすでに様々な機関を通して被災地への募金をされているようですので愛知クラブとしての募金の協力呼びかけは止めました。

今回の地震から改めて私達は大きな教訓を与えられました。自然の偉大さと共に人間にとって想像もできないその脅威、しかも突然にやってくる、人間の力ではなすすべもない。

今後日本の何処で起きるか予想できない震災にどう向き合い、どう対処するのか日本人全体の問題です。昨今大きく報道されている南海トラフ地震を考えるとよそ事とは思えません。その時 FF 愛知の役員会としてどのように対応すべきか早急に話し合いを持ち、ある程度のコンセンサスを得ておくことが必要だと思いました。

熊本クラブの皆様が 1 日も早く元気にフレンドシップ フォースの活動を再開されますことをお祈りいたします。

「桜花満開の季　3/31~4/6 Wellington, New Zealand より１５名のアンバサダーを迎える」

「Farewell Party にて、息の合った合唱を披露」

FF Wellington　を迎えて

ED　小倉　小枝子

半年前、役員会で晴天の霹靂のごとく、ED を引き受けてしまったことに後悔した。プリストルの時の ED、橋本さんの“やってみるべきだ”の声におされて受けたものの、私にできるのだろうか？英文メールも上手くできないし、英会話だってブロウクンだし、と思いつつも AED を西村さんが引き受けてくださったのに救われた思いだった。
ホストの決定、メールアドレス調べ、アンバサダー、ホストの写真の受け取り、各行事の担当者にいろいろなお願い、東京の ED，NZ の ED との諸連絡などやることはいっぱいだった。ある時、私の文面で NZ の ED が混乱して、慌てたこともあり、重要なメールは西村さんにお願いした。そんなこんなで迎えた当日、新幹線から下車された面々は初対面にもかかわらず、古くからの友人のような気持ちさえした。風邪をひかれた人が何人かみえるとの連絡があったが、元気そうで一安心した。
ED の Rhys と Len 夫妻を我が家に迎え、夫と私の二つのベッドの部屋を彼等に使ってもらい、我々は座敷に移動する。よその家に泊まった気分であった。
次の日、企業見学では以前から長くて疲れるという声を聞いていたが、初めて参加してみて、やはりトヨタははずせない、との思いを強くした。ブリックエイジのウエルカムランチではすこし、段取りがよくなかったことが反省される。市内見学では私の場合、瑞浪の会員にサポートしてもらう。ここでも反省あり。フリーディではアンバサダーは多くの会員により、いろいろな経験をされることになった。高山バスツアーは残念な天候だったが、アンバサダーの一人の欠席もなかったことが良かった。旅の内容については検討の余地があるように思われた。フェアウェルパーティでは４８名の参加のもと、加藤八郎さんの素晴らしい挨拶。大正琴演奏、NZ の人たちの合唱と楽しく和やかに行われた。帰国については、今回は愛知の後、日本の各地域に行かれる方が多く、延泊など対処が問われた。
今回の経験をもとに次回からの受け入れに活かしていきたいものである。
今回 ED をやって感じたことは、NZ の方々が大変喜ばれたこと、
本調子ではない人もあったが、元気で過ごされたこと。又、今までもやってきたことだが、各行事を分担することは良いシステムであると思う。アンバサダー、ホストの写真入りのしおりができたのは良かった。前もってホストの写真をニュースレターに載せてもらったのも良かった。今回アンバサダーの交通費を彼等から同額いただき、必要に応じて支給するという試みも実行できた。遠方でもホストをうけやすくする良い方法だと思われた。多くの会員の皆様に援助、協力していただき成立した FF Wellington の受け入れは私にとって疲れましたが、貴重な体験となりました。
本当にありがとうございました。

「ＮＺのＥＤ　Rhys＆M0rris 夫妻」

ニュージーランドの受け入れ

加藤　紀子

これまで数回の受け入れをしてほとんど緊張も不安もなく受け入れをしてきました。
今回は入会後初めての方が受け入れをしてくださるとのことで早くから受け態勢を整え、何もかも万全にしておきました。しかし２日目の企業訪問の帰り、寒気と微熱に見舞われ、その後の予定に何一つ出られなくなってしまったのです。医者に行くと恐れていたインフルエンザとのこと、隔離です。幸い我が家は２・３日ならば接触せずに受け入れができたのでその間に次のホストを捜したり運転手を捜したりしました。しかし今回は受け入れのベテランがフリーだったために急な変更にも拘わらずアンバサダーも満足して数日間を過ごしていきました。ハグもできないさようならは初めてのことで私には最悪の事でしたが FF 愛知はやはり素晴らしいなーと改めてベテラン会員に感謝でした。そして関係者の方たちに感染しなかったことと皆さんの協力で、なんでもなく終わったことに感謝申し上げます。

デイホスト宅での朝食風景
二人の女の子が焼いたパンケーキ

That's Life

武藤　美代子

今回のアンバサダーが８０歳と７９歳の夫婦と分かったとき、いろいろと心配した。
彼らの１階の部屋から２階のダイニングやお風呂に毎日上がったり降りたり大丈夫だろうか、時間があるときどこに連れて行こうかなどなど。ところが、その心配はすぐに吹っ飛んだ。初日名古屋駅に迎えに行ったあと高島屋に寄り店内を歩き回ったが、歩くのがとても軽快で速いの何のって。“You walk fast”と思わず言うと彼らは笑っていた。駅では私がいつものようにエスカレーターに乗ろうとすると、二人はさっさと階段を上がって行った。高山旅行から戻ったときはさすがにエスカレーターかと思いきや、平気で軽快に階段を上がって行った。ウォーキングが好きで、二人でよく野山を歩くそうだが、私も彼らと同じ年齢になったとき、ああありたいなと思った。この他にも今回も、素敵な生き方や考え方を知り、たくさんの感動をもらった。いつもながら、いろいろ英語の表現も教えてもらった。その一つが、表現の”That's life”だ。私の友人に二人の娘がいる。姉の方は今年大学受験３浪目だが、妹の方は２浪目で合格した。彼らにそのことを話したら、“That's life”と教えてくれた。

「筆を持つ Brian＆Judith 夫妻」

「フレンドリーな Bob＆Sue 夫妻」

受け入れの感想

竹内　珠美

今回初めてホストとしてアンバサダーの受け入れを経験させて頂きました。
英語が挨拶程度しか話せない私ですが、ヘルプの新海ゆみ子さんが日程の説明、フリーディの企画など細かく気を配ってくださいました。夕食では加藤さん細川さんがポトラック、稲葉さんが BBQ を企画してくださり他のアンバサダーさんにお会いする機会にもなりました。そして、企業見学の際には塩谷さんに送って頂きました。みなさんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。
アンバサダーの Bob さん Sue さんは１０ヶ国以上ホームステイを経験され、世界中に友人がいらっしゃるベテランのアンバサダーさんでした。簡単な単語で話してくださったり日本語の挨拶をしてくださったり、とてもフレンドリーな優しいご夫婦でした。
フリーディは地元半田から知多半島一周を企画しました。半田に本社がある mizkan のミュージアムの見学では英語での説明がなかったことが残念でしたが、果実酢の試飲があったり、お寿司を握る体験ができたり楽しんで頂けました。
Bob さんが魚が好きということで美浜の魚太郎にも行きました。ここでは、お煎餅や佃煮など日本特有の食べ物の試食をしていただき珍しそうに召し上がっていました。
ホームステイ期間中、イチゴ狩りに行ったり、山車の通過に遭遇し日本の祭りを見てもらうことができたり、夜桜を見に行くこともでき、日本の風物詩をたっぷり見てもらうことができました。桜の満開の時期にお迎えできてとても良かったと思います。

偶然の出来事

宮本　操枝

日本へ初めて訪問したのが３５年前、通算ビジネスで１０回訪問したという、寡黙で紳士な Jim ７９歳。一方スコットランドに咲くヒースという花の名前を持つ、チャーミングで知的好奇心の強い Heather７２歳とても素敵なカップルでした。

FF 入会は一年程、今回の渡航が初めてでした。しかしフランスからの受け入れでディナーホストを経験し５月１７日からホノルルクラブの二人の女性を受け入れると話しました。ホノルルクラブと言えば一昨年 Margaretha と Johanna を受け入れしました。もしかしてと思い尋ねてみました。それがなんとこのお二人を受入れするのです。なんという偶然なのか、驚きで興奮しました。早速 Margaretha に、この事を報告すべくメールをしたところ、「フレンドシップは世界中の人々を結びつけるなんとすばらしいこと！」と返信してきました。こんな短期間にこのような繋がりがあるとは思ってもみませんでした。

Jin－Jim は言いました。“It's a small world” FF の交換は人と人を結びつけるということを実感しました。交換が終わり彼らは３週間、のんびり、ゆったり日本を周遊旅行しています。良い印象を是非 NZ に持ち帰っていただきたいと願っています。

「素敵なカップル Jim＆Heather 夫妻」

「Kate＆Kathleen 祖母と孫娘」

「Jaye 太鼓の体験」

NZ.受け入れして

細川　義信・加代子

二人がベジタリアンということで、最初は戸惑いましたが、実際にホストをしてみると純日本風で助かりました。食事の心配もせず、とても優しい祖母と孫でした。

明るくて陽気な二人、孫キャサリンは１５歳と、とても若いので家内の友達の娘さんに２日間案内をして頂き助かりました。それにフォトアルバムまで作成しキャサリンにプレゼントしてくれましたので、キャサリンは感激していました。これには、我々も興奮しました。良い思い出が二人にはできたと思います。

私達も楽しみ、受け入れ出来たことに感謝します。

ケイトより二人のためにご配慮して頂き、又交換に関与したクラブのメンバーに感謝の意を伝えてくださいとのことでした。

初めてのホスト

塩谷　智子・袴田　洋子

FF での初めてのホストの体験は、あっという間に過ぎてしまうくらい、楽しく充実したものでした。我が家のアンバサダーは、Jaye さんという素敵な女性で、元体育の先生だったそうで、背筋がビシッとされていて、いろいろな知識も豊富で、お話していて大変、勉強になりました。我が家では、着物を着て頂いて、とても気に入って頂けたみたいです。

日曜日は、day ホストの堀さんと太鼓を体験させて頂いて、ムービーを見せて頂いて良い経験ができたようで、とても喜んでいました。

桜の満開の時期と重なり、どこでも綺麗な桜を見て、たくさんの写真を撮られていました。ホストとしての心配だったのがお食事でしたが、何でも食べて頂いたので、良かったです。私は、いつも時間がなくて、早く食べてしまうのですが、とてもゆっくり少しずつ食べていらっしゃって、少し反省しました。

私の子供達にとっても良い経験だったのですが、恥ずかしい年頃なのかあまり話せず、残念でした。是非、時間に余裕ができたら、NZ へ遊びに行きたいです。

NZ ホストの皆さま

大矢　道子

今回で５回のホストになります。今回は７９歳 Judith です。毎回事前に写真を送って頂き何度もメール交換をしますが、実際に会って見ないと気が合うか、健康状態等は解りませんので心配です。新幹線で降り改札を通るとき切符をどこに入れたか解らず一人だけ遅れて出ていらっしゃいました。以後切符は私が管理するようにしましたが。７９歳ですが元気で食欲もありトラブルもなくよかったです。今回は橋本さんに有松へ、服部さんにディナーホストをお願いし満足されたようです。
私達ホストは出来るだけ、色々経験をさせてあげようとプランをたてますが、Judith はホストの家でもう少しのんびりする時間がほしかった、とおっしゃっていました。

「元気な Judith」

「桜の木の下の笑顔 Joy」

友あり遠方より来る―Joy の人柄にふれて

重森　整三・隆子

FF 愛知の新入会員として１年。初めてのホストを引き受け、あれこれ思い悩みながらも楽しい経験ができた事に感謝している。アンバサダーの Joy は７５歳の元気な科学者。社会事業の相談員や、高校の教師も経験している。博識で魅力溢れる女性だ。今までにも何回か来日しており、日本人の友人も多くいる。メールのやりとりで、彼女はあちこちの観光よりも、日本という国の人間や習慣に興味があることを知る。さればこそ、私たちも飾らず、ありのままをさらけ出し、できるだけたくさんの人に会う機会を作り、彼女が望んでいる事を実現してあげたいと思った。

出会いから、古い友人のようにゆったりと話し込み、２日目からの夜も、半田のポトラックパーティや BBQ パーティーに参加させて頂き、Joy はもちろん、私たちも又多くの人と触れ合い、楽しく過ごさせて頂いた。半田のホストや会員の皆様の情熱的で、行動的で、温かいもてなしに敬服すると共に、お誘い頂けた事心から感謝している。フリーディも、FF メンバーの協力もあり、多くの人と一緒に西尾市や岡崎城の桜、真福寺の竹膳料理、味噌蔵見学など身近な日本を知ってもらえたように思う。

思えば Joy は活動的ながら話の好きな人で、毎食に出す家庭菜園の野菜から、彼女も野菜作りをしていることで話が弾み、どういう訳か、中国人談義や政治の話まで発展していく。野菜畑も是非見たいとの事で、案内すると地球の裏側で同じものを作っている事を知り、お互いに大笑いする。似たものどうしの国柄で親近感を覚える。

気取らず、ありのままで接してくれたのは Joy のほうかもしれない。喜びや素晴らしさの表現で lovely を連発してくれ、ほの温かい気持ちにこちらが嬉しくなってくる。その人柄は齢を重ねて味わい深く、天真爛漫で、朗らかな女性。１０年来の知己のように自然に溶け込み、まさに「友あり遠方より来る」感じで、笑顔でお別れする事ができた。ぜひとも生涯を通じた良き友人であり続けたいと願う。

報告とお知らせ

受入：メキシコ コアテペグ クラブ　　9月27日(火)～10月4日(火)

ED:西村貴美子　　アンバサダー16名　ホスト10名

受入交換プログラム：

9月28日(水)	12:00～13:30 ウエルカム ランチ　於：アイリス愛知
	13:30～16:00 名古屋城見物
9月29日(木)	高山バス旅行
9月30日(金)	愛知企業見学・キリンビール・トヨタ テクノ ミュージアム
10月1日(土)	名古屋市内観光(オプション)
10月3日(月)	フェアウエル パーティー　於：ウェスティン名古屋キャッスル

渡航：デトロイト・ウエスタン ミシガン　　6月1日(水)～15日(水)

ED:稲葉千賀子　　参加者17名

FFIテーマ別交換:　ニュージーランド英語研修テーマ交換

8月18日(木)～9月2日(金)・10月3日(月)～17日(月)

ギズボーンクラブ・ホアンガレイクラブ・ワンガヌイクラブ・タウポクラブ

Next Gen.プログラム日本メンター 石井嗣代　　愛知クラブ参加者：8名

2016年ブロック会議　　10月29日(土) 大阪ガーデンパレス

2016年 第28回日本大会 埼玉　　11月12日(土)

・場所：さいたま新都心ホテル ブリランテ武蔵

編集後記：

ＮＺのアンバサダー１５名は、至る所で咲き誇る桜の花の饗宴に酔いしれ、日本の一美しい季節と瞬間を楽しんで頂けたように思う。ホストの皆様も積極的に交流を楽しんでいる様子が感想の中にうかがえる。さらに時をおいて、５／８～５／１０新潟クラブを訪問。温かいもてなしを受け、通常では成しえぬ素晴らしい交流を体験したようだ。その思い出の記事は次号に掲載します。その間、忘れてならないのが突然の猛威となって襲った熊本大地震。震度７に二度も見舞われる恐怖と不条理。神戸、東日本と続き、熊本も又記憶の中で刻みこまれた惨事だ。私たちは教訓として学び、備え、被災地への息の長い支援を続けていく必要があろう。ＦＦ熊本に送られる見舞金が少しでも手助けになり、支援の輪が広がり、会員相互の互助と連帯を再認識する、よすがになれば幸いである。広報　重森

編集・発行：FF愛知　会　長：鷹野　晴子 htkn@ma.medias.ne.jp
〒470-2101
知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37
事務局：加藤　紀子　puppy-nk@cac-net.ne.jp
〒475-0833 半田市花園町 6-27-19
ニューズレター 編集・製作グループ：冨岡達也　重森整三　森井恵治　山脇悦子
ホームページ　担当　　：冨岡　達也　アドレス：http://ff-aichi.jp

＊今月号から新しい広報メンバー作成によるニューズレターをお届けします。